

エルサルバドル政治経済月報 (2020年1月分)

2021年2月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 憲法改正に関する動き

(1) 16日、ウジョア副大統領をリーダーとする憲法改正に関わる作業チームは、大統領の任期を、現在の5年から6年に延長する案を含む憲法改正案を提案する旨、プレスリリースで明らかにした。

(2) 同プレスリリースでは、大統領の任期を6年に延長する改正案の趣旨は、それぞれ3年の任期となっている国会議員及び市長の任期に合わせるためと説明している。また、今般の憲法改正案には、任期途中の大統領の任期の継続の是非を、大統領の任期3年目に国民に問う国民投票の実施も含まれる。

(3) 仮に大統領の任期が5年から6年に延長されることになった場合、同規定は、2029年に就任予定の大統領から適用される旨、同プレスリリースは説明している(注: ブケレ大統領の任期は、2019年-2024年。次期大統領の任期は、2024年-2029年。)

(4) テレビ番組のインタビューに答えたウジョア副大統領は、現職の大統領の連続再選の解禁については否定的な見解を示した(注: 現在の規定では、大統領の連続再選は禁止されているが、間を空けての再選そのものは禁止されていない。)

2. ヒューマン・ライツ・ウォッチ 2020 年年次報告書

(1) ヒューマン・ライツ・ウォッチの2020年年次報告書において、エルサルバドルは、治安当局による権力の乱用、ブケレ政権による様々な領域における権威主義的傾向、とりわけ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策における問題点が指摘されている。

(2) 同報告書は、ブケレ大統領の発言が、治安当局による権力の乱用を助長したと指摘し、具体的例として、昨年4月、COVID-19対策として課せられた完全自宅待機命令の違反者に対し、治安当局が厳しい取り締まりを行った際に、ブケレ大統領が、「警察が(完全自宅待機命令の)違反者の身柄を拘束する際に、それらの者の手首を折ることになっても仕方がない」と発言した事例を挙げている。

(3) 同報告書によれば、エルサルバドルにおける人権状況は、昨年2月に、借款案件の国会承認を求めて、ブケレ大統領が、治安当局を国会本会議場に動員し、国会議員に圧力をかけた事例から悪化の傾向を示している。

(4) 同報告書は、2020年のエルサルバドルにおける殺人件数が、2019年比で減少していたことを好意的に評価しているが、他方、昨年9月にメディアによって報じられたブケレ政権と犯罪組織「MS-13」との間で交渉が行われた疑惑についても指摘している。

(5) 同報告書は、ブケレ政権による透明性の欠如、ジャーナリストに対する嫌がらせ、COVID-19対策における人権侵害の問題が指摘しており、政府によって実施されたCOVID-19対策に関連し、1,600件の人権侵害の訴えがなされた旨報告している。

3. 和平合意署名記念日を巡るブケレ大統領の批判

(1) 16日、ブケレ大統領は、同日、29周年を迎えた和平合意署名記念日に関し、右派、左派の墮落した者たちによって署名された合意を祝するのではなく、これらの者によって引き起こされた武力紛争の犠牲者を追悼するために、同日を「武力紛争による犠牲者(victimas)の日」とする旨発言し、内戦の加害者である者たちが、和平合意の立役者として賞賛されるべきではないと批判した。

(2) 翌17日、大統領府はプレスリリースを発出し、1月16日を「武力紛争による犠牲者の日」とする大統領令を発令した旨発表した。

- (3) 16日、首都サンサルバドル市中心部のメトロポリタン大聖堂で行われた和平合意署名記念式典には、和平合意の署名者、実際に内戦の戦場で戦った元兵士、市民団体等の関係者5千人以上が参加した。また、右派、左派に分かれて実際に戦火を交えた当事者同士が、1992年の和平合意後、初めて同じ式典に参加し、エルサルバドル史上における同和平合意の重要性について主張した。
- (4) 和平合意の署名者の一人であるニディア・ディアス国会議員（左派ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）所属）は、ブケレ大統領の発言は、内戦を戦い、倒れていった一人一人の者たち、及び、家族を失った全てのエルサルバドル人に対する敬意を欠くものである旨述べた。
- (5) 和平合意の署名者の一人であるマウリシオ・バルガス国会議員（右派国民共和同盟（ARENA）所属）は、ブケレ大統領の発言は、不条理かつ痛ましいものであると同時に、歴史の正当性を否定しようとする危険なものである旨述べた。また、同国会議員は、FMLNのゲリラ活動に終止符を打った和平合意が存在しなければ、現在のエルサルバドルの政治・選挙制度は存在せず、ブケレ大統領が大統領の座にたどり着くことはできなかった旨述べた。

4. ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）支持者への襲撃事件

- (1) 31日午後6時半頃、サンサルバドル市中心部にて、2月28日に開催される国会議員選挙及び全国市長選挙の選挙キャンペーン集会を行っていたFMLN支持者を武装した者が襲撃し、2名が死亡、3名が負傷する事件が発生した。本事件の容疑者として2名の身柄が拘束された。
- (2) 同日、ブケレ大統領は自身のツイッターに、今般の襲撃事件は、選挙戦で劣勢に置かれているFMLNによる自作自演であり、生命を軽視する行為である旨のメッセージを発出した。
- (3) 同日、オルティスFMLN党首は記者会見を開き、今般の襲撃事件はテロ行為であると批判するとともに、ブケレ大統領による憎悪を助長する言動が、今般の襲撃事件を生む要因となっている旨述べた。また、同党首は、ブケレ大統領のツイッター・メッセージに触れ、同大統領はエルサルバドルの歴史上最悪の暴君であると批判し、早かれ遅かれ、かような暴力行為が大統領の身に及ぶことになる旨述べた。
- (4) 同日、テレビ出演したアラビ保健大臣は、容疑者のうち1名は、保健省の要人警護局に勤務する者である旨明らかにし、当局による捜査が適切に行われるよう望む旨述べた。また、同保健大臣は、FMLN支持者に対し一方的に銃撃が行われたのではなく、双方の間で銃撃戦が行われた旨述べた。

外交

1. 移民問題に関する地域声明の採択：外務省プレスリリース

11日、エルサルバドル外務省は、移民問題に関するメキシコ、グアテマラ、ホンジュラスとの地域声明を採択した旨のプレスリリースを発出した。

【プレスリリース概要】

- (1) エルサルバドルは、メキシコ、グアテマラ、ホンジュラスと、不法移民、治安、移民の人身売買等にかかる問題に総合的に対応するための地域声明を採択した。ホンジュラスのコリントで行われた式典には、ポルタル外務次官（在外エルサルバドル人担当）が出席した。グアテマラ、ホンジュラスからもそれぞれ外務次官が出席した。
- (2) 声明採択国は、移民の人権の促進及び保護に対する責任について改めて表明するとともに、「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト」及び「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念が果たされるよう呼びかけた。
- (3) 移民問題に効果的に対応するために、移民の出身国、通過国、目的国、送還国の間で、情報及びグッドプラクティスを交換することを目的とした協力を推進していくことが求められた。また、米国との協力を強化する必要性が示された。
- (4) また、同声明では、不法移住に関連した犯罪等の危険に、同伴者の有無にかかわらず未成

年者をさらさないことが呼びかけられた。右に関連し、児童の権利に関する条約の原則及び責任を念頭に、未成年者への対応を優先することが謳われた。さらに、同声明では、現在の移民問題への対応は、各国の国内法、及び、国際社会の責任に応じる形での、各国が責任を共有しているとの原則、並びに、明文化されていない移民及びその家族の人権の尊重が求められる旨言及されている。

(5) 現在の新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大状況によって、不法移民問題が保健上の問題にもなっていることを受け、各国の入国管理及び公衆衛生の対策を遵守することが要請された。

2. バイデン米国大統領就任に対する祝意表明：大統領府プレスリリース

20日、エルサルバドル大統領府は、同日就任したバイデン米国大統領への祝意を表明する大統領府プレスリリースを発売した。

【プレスリリース概要】

(1) エルサルバドルは、ジョセフ・バイデン米国新政府を祝福するとともに、信頼する主要なパートナー国と引き続き取り組んでいくとの完全なる意思を表明する。

(2) エルサルバドル国民を代表し、ブケレ大統領は、ジョセフ・バイデン大統領及びカマラ・ハリス副大統領に対し、2021年－2025年の任期における米国新政権を発足したことに関し、心からの祝意を表明する。

(3) バイデン大統領及びハリス副大統領による政権が成功を収めることを祈るとともに、エルサルバドル政府は、米国との歴史的な友情と協力の関係を強化し続けることに対する完全な意思、及び、両国の共通の関心と相互利益にかかる分野での取組を推進することに対する責任について、表明する。

(4) 我々は、信頼する主要なパートナー国と緊密に働き続ける。

3. 「FOMILENIO 第2フェーズ」の再開

20日、エルサルバドル政府による分担金50万ドルが支払われていないことによって、米国のミレニウム挑戦公社 (MCC) による当地開発支援プログラム「FOMILENIO 第2フェーズ」のクラウディア・ラルス・バイパス (サンタアナ県とソンソナテ県間の幹線道路沿い)、エル・アマテージョ国境施設 (ラ・ウニオン県)、アングイアトゥ国境施設 (サンタアナ県)、エル・パイナル灌漑設備 (サンサルバドル県) の4つのプロジェクトが中断されていたが、エルサルバドル政府による分担金が支払われたことを受け、これら4つのプロジェクトが再開された。同日、クラウディア・ラルス・バイパスの工事現場で行われた記者会見に、セラヤ財務大臣とロドリゲス公共事業大臣が出席し、エルサルバドル政府が分担金を支払ったことによって、中断していた「FOMILENIO 第2フェーズ」のプロジェクトが再開された旨正式に発表された。

4. ヒル外相とオブライエン在エルサルバドル米国臨時代理大使の会談

(1) 25日、ヒル外相とオブライエン在エルサルバドル米国臨時代理大使は、不法移民問題に関して協議するためにテレビ会議を実施した。オブライエン臨時代理大使は、国境の安全を守り、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大を阻止するという米国政府の断固たる責務について、改めて表明した。バイデン新政権の下、世界的公衆衛生の危機の中、国境の安全を守るという責務は、新たな取り組みとともに継続される。

(2) オブライエン臨時代理大使は、世界的公衆衛生の問題から、適切な書類を保持していない者の米国への入国は許可されない旨述べた。それ故に、米国国境を不法な形で越境する者たちは、それらの者の安全を保証する法的手続きに基づき、送還される。

(3) オブライエン臨時代理大使は、エルサルバドル政府による不法移住を思いとどまらせる政策、及び、人身売買対策関連法の適用を保証する措置の実施を評価した。

(4) ヒル外相は、エルサルバドル政府の不法移住を生む構造的な原因への対策という責務について改めて表明するとともに、エルサルバドル国民に総合的な発展を与えるということが優先事項である点について強調した。また、同外相は、あらゆる状況における移民の保護、領事サービス

の改善、とりわけ、未成年移民者への対応の強化について強調した。

(5) エルサルバドル政府及び米国政府は、規則に基づく、秩序だった、安全な移住を支援している。それ故に、両国は、エルサルバドル国民がより良い発展の機械を得られることを保証するために、引き続き緊密に協力していく。

経済

1. 2021 年度エルサルバドル国家予算

2020 年 12 月 24 日、エルサルバドル国会は、歳出 7,423,625,794 ドル（対前年比 997,515,294 ドル増（15.5%増））、歳入 7,289,730,052 ドル（対前年比 863,619,552 ドル増（13.4%増））の 2021 年度国家予算関連法を可決した。

2. 英国・中米諸国間の貿易協定発効

2021 年 1 月 1 日、英国と中米諸国間で締結された貿易協定が発効した。本協定により EU 離脱後の英国と中米諸国間の貿易優遇措置が維持される。本協定内容には、砂糖貿易の追加割当を中米諸国に与える等、EU との協定とは異なる、中米諸国にとって有利な内容が組み込まれている。

3. 2020 年度エルサルバドル歳入額

2020 年度のエルサルバドル歳入総額は、4,821.3 百万ドルであった（対前年比 326.9 百万ドル減（マイナス 6.3%））。右額のうち税収総額は、4,616.1 百万ドル（対前年比 297.6 百万ドル減（マイナス 6.1%））であった。また、税以外の収入に関しては、205.2 百万ドル（対前年比マイナス 12.5%）であった。

4. 世銀によるエルサルバドル経済成長率予測

1 月 5 日、世銀はエルサルバドルの 2021 年の経済成長率予測に関して、4.6%と発表した。右数値は、2020 年 10 月時点での同機関による予測値 4.9%と比較するとマイナス 0.3 ポイントである。同機関による中米 6 か国の 2021 年度経済成長率予測は以下のとおり。

- (1) エルサルバドル : 4.6%
- (2) グアテマラ : 3.6%
- (3) ホンジュラス : 3.8%
- (4) ニカラグア : ▲0.9%
- (5) コスタリカ : 2.6%
- (6) パナマ : 5.1%

5. 中米経済統合銀行による太平洋鉄道プロジェクト支援

中米経済統合銀行 (BCIE) は、太平洋鉄道プロジェクトを含む、エルサルバドルでの旅客及び貨物の輸送を目的とした鉄道敷設にかかるフィージビリティ・スタディの実施のため、45 万ドルの無償技術協力を行う旨発表した。右協力は、BCIE 及び韓国信託基金 (Korea Trust Fund : KTF) 間で締結された枠組みを通じて行われ、韓国によって承認された資金を利用する。

6. バイオガス発電プロジェクトの署名

1 月 12 日、ダニエル・アルバレス・レンパ川水力発電管理委員会 (CEL) 総裁及びルベン・アレマン上下水道公社 (ANDA) 総裁は、バイオガス発電プロジェクトへの署名を行った。同プロジェクトでは、CEL が新規バイオガス発電所及び廃水処理プラントへの輸送に使用する新規下水管の設計、建設、オペレーション及び管理を行う予定である。本プロジェクトの設計に関する入札には、ドイツ、韓国、アルゼンチンをはじめとする企業 32 社が参加している。同プロジェクトへの入札書の開封は、2 月 15 日より開始される。

7. 2020年度エルサルバドル貿易総額

1月18日、エルサルバドル中銀は2020年度貿易総額を発表した。経済活動再開に伴い、2020年9月以降は、輸出成長率が上昇し始めていたが、同年11月に発生した熱帯暴風雨によってホンジュラス及びグアテマラが被害を受けたことで、需給に悪影響を及ぼし、輸出成長が鈍化した。

- (1) 輸出総額：5,030.1百万ドル（対前年比913.2百万ドル減、マイナス15.4%）
- (2) 輸入総額：10,593.7百万ドル（対前年比1423.9百万ドル減、マイナス11.8%）
- (3) 貿易収支額：5,563.6百万ドル（対前年比510.6百万ドル減、マイナス8.41%）

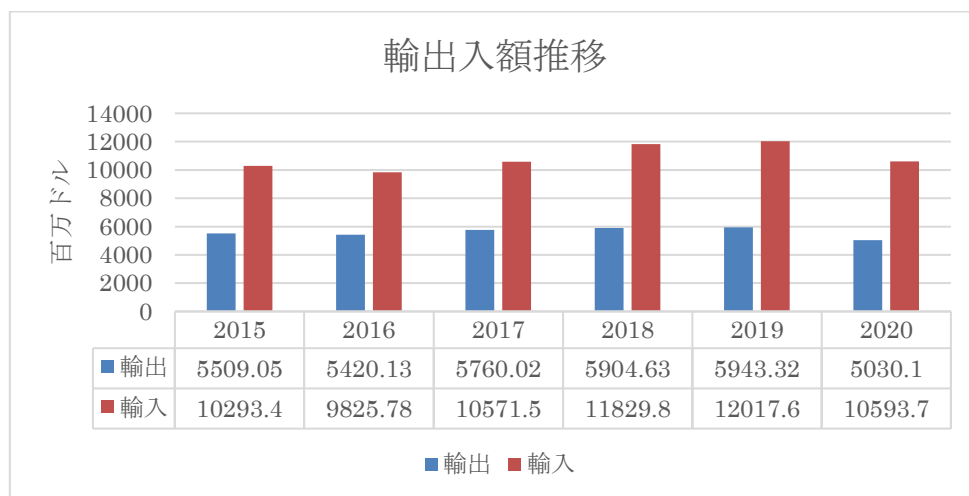
8. 2020年度家族送金受給総額

1月18日、エルサルバドル中銀は2020年度家族送金受給総額を発表した。2020年度の右額は、1991年以降最高額であった。

- (1) 家族送金受給総額：5,918.6百万ドル（対前年比269.6百万ドル（4.8%増））
- (2) 月平均受給額：493.22百万ドル
- (3) 2020年12月の家族送金受給額：644.6百万ドル（対前年比93.3百万ドル（16.9%増））
- (4) 米国からの家族送金総額：5,707.7百万ドル（対前年比345.7百万ドル増）（対2020年度家族送金受給総額96.4%）

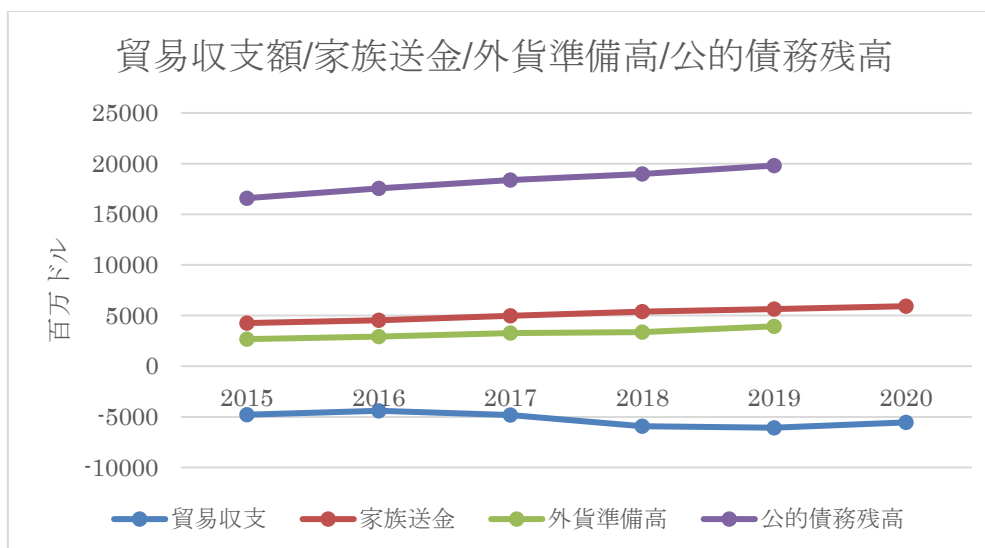
9. 2020年度砂糖輸出総額

2019年から2020年シーズンの砂糖生産量は、827,000トン（対前年比27,000トン増）に上り、そのうち、海外へ輸出されたのは550,000トン、輸出総額は254.3百万ドル（対前年比37百万ドル増）であった。2020年度の韓国への砂糖輸出額は48百万ドル（対前年比91%）を記録し、中国への輸出額は75.1百万ドル（対同年総額比29.5%）であった。



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

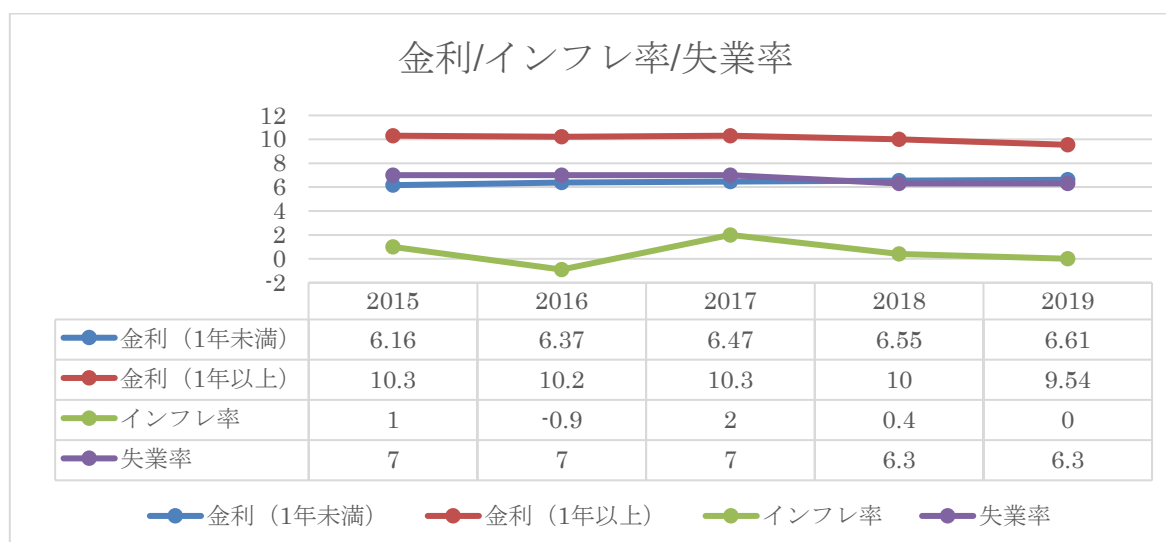
・2020年の輸出額5,030.1百万ドルとなり、前年比マイナス15.4%であった。輸入額は10,593.7百万ドルとなり、前年比マイナス11.8%であった。



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

・ 2020 年家族送金額は 5,918.6 百万ドルであった。その内、米国からの送金は全体の 96.4% を占め、米国からの送金だけで総額 5,707.7 百万ドルであった。

・ 2020 年度の貿易収支額は -5,563.63 百万ドルとなり、前年比 510.62 百万ドルの改善が見られた。

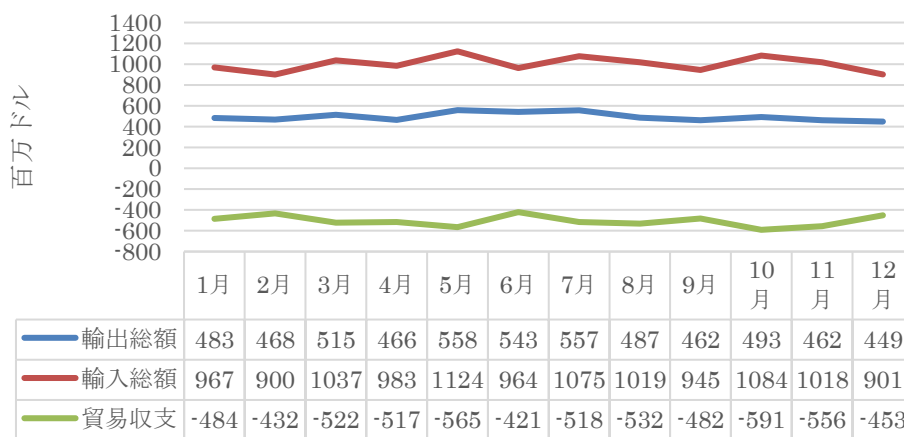


(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

・ 2019 年のインフレ率は -0.004% となり、前年と比較し、0.434 ポイント減少した。

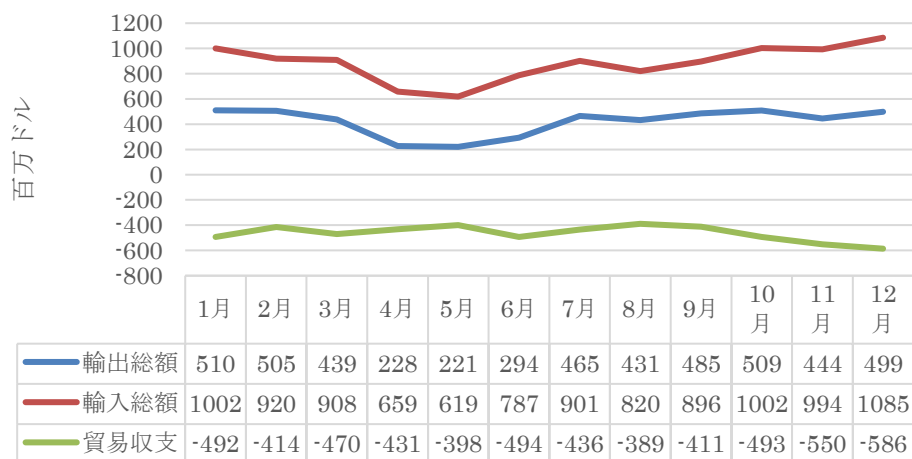
・ 2019 年の失業率は前年同様 6.3% であった。

2019年1月から12月までの輸出入額及び貿易収支額



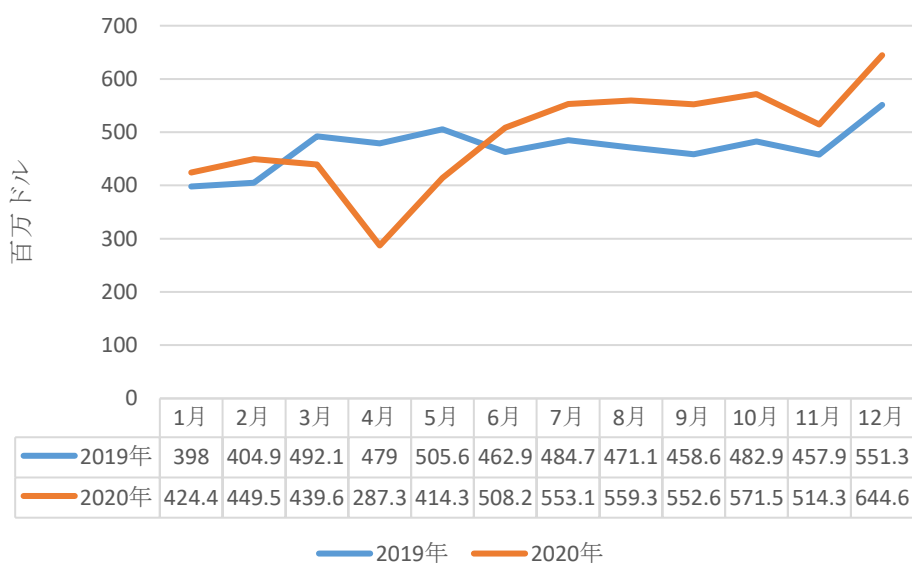
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

2020年1月から12月までの輸出入額及び貿易収支額



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

1月から12月までの家族送金額推移比較 (2019-2020)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. 2020年の殺人事件数と中米諸国との対比（報道）

2020年のエルサルバドルにおける殺人事件数は、1,322人となり、2019年の殺人事件数2,398件と比較して1,075件の減少（約45%減少）、人口10万人あたりの殺人事件発生率は19.5人であった。国連開発計画（UNDP）によると、ホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、コスタリカ、ベリーズの5カ国と比較した場合、人口10万人あたりの殺人事件発生率が最も高かったのは、ホンジュラス（37.4人）、次いでベリーズ（24.3人）となり、エルサルバドル（19.5人）は3番であった。

なお右5カ国のうち、殺人事件が2019年度より増加したのはコスタリカのみで、他4カ国に関しては、いずれも殺人事件が減少した。

	ホンジュラス	グアテマラ	エルサルバドル	コスタリカ	ベリーズ
2019年	3,996	3,578	2,398	564	134
2020年	3,496	2,574	1,322	569	102
差異	-500 (-13%)	-1,004 (-28%)	-1,076 (-45%)	+5 (+1%)	-32 (-24%)

2. 国民に対する治安のアンケート結果（報道）

（1）ホセ・シメオン・カニヤス中米大学（UCA）と世論研究所（IUDOP）が行った、治安の認識に関する最新のアンケート調査によると、国民は、政府が実施している犯罪地域コントロール計画（Plan Control Territorial）により、より安全になったと感じていることが明らかになった。

（2）公式の犯罪統計によると、2020年の殺人、行方不明、恐喝、強盗、その他犯罪の発生件数は大きく減少し、司法及び治安当局は、これらの減少は、犯罪地域コントロール計画の成果であると見ている。

（3）アンケート結果

ア 自身の居住区域において警察は犯罪の制圧を達成したか？

	「とても」若しくは「多少」	「少し」若しくは「全く」
2019年	67.7%	33.1%
2020年	72.3%	27.8%

イ 政府による犯罪地域コントロール計画はギャング組織から勢力地域を減少させたか？

	「とても」若しくは「多少」	「少し」若しくは「全く」
2019年	65.8%	31.6%
2020年	68.8%	30.0%

【参考】2019年と2020年主要11犯罪とその他犯罪事件の対比

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦
2019	7,179	3,135	3,808	2,383	2,115	1,055	491	2,254
2020	5,177	2,607	2,981	1,322	1,345	607	333	1,744
差異	-2,002	-528	-827	-1,061	-770	-448	-158	-510

	交通事故死	配送車盗難・強盗	誘拐	その他	合計
2019	1,404	77	14	40,653	64,568
2020	1,046	35	9	30,710	47,916
差異	-358	-42	-5	-9,943	-16,652

各数値は国家文民警察提供

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域	レベル2: 不要不急の渡航中止区域
国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチット旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	配送車盗難強盗	誘拐
2020年11月	541	305	285	94	137	68	33	168	115	3	0
2020年12月	530	319	292	102	120	72	30	138	150	3	0

